

6年間の学習指導計画(案)

(平成23年5月現在)

- (1) 各教科の6年間の学習指導計画
- (2) 道徳教育全体計画
(附属中学校・屋代高校)

平成24年度開校
長野県屋代高等学校附属中学校

平成23年6月2日

6年間の学習指導計画(案)【国語】

1 指導の方針

国語力はすべての学問・研究の土台となるものであるという観点に立ち、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」という各領域の力の涵養を図るとともに、その深化・発展を目指す。
 ・学びの中の協同的対話の姿勢を通して感じ取る力、考える力、伝える力を高める。
 ・文化伝統への理解を深め、それを継承していく力を育てる。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深化・発展的学習(例)
中1	【基礎期】 学習する態度や姿勢の確立、学習方法の定着、基礎的・基本的な知識・技能の定着、話し合いのできる学習環境の確立と充実を目指す。	新しい世界へ 視野を広げる 心の歩み 古典との出会い 真実を語る 自分を見つめる 生活と言葉 意見文 書写 課題研究	〔通年〕基礎的な古文・漢文の輪読(ノート提出) 古語辞典を引くこと メディアリテラシー (新聞を比較しよう) 課題研究 (例 言葉を調べよう)
中2	現代文や古典の多くの作品に触れ、心情を豊かにし、言語感覚を磨くとともに言葉による表現能力の向上を目指す。	心を開く 真実を探る 人間のきずな 古典との出会い 真実と意見 生きる姿 広がる言葉 意見文 書写 課題研究	〔通年〕基礎的な古文・漢文の輪読(ノート提出) 古作文に挑戦 メディアリテラシー (画像から情報を読み取る) 課題研究 (例 言葉の修飾法を調べよう)
中3	【充実期】 論理的思考力やそれに基づく表現力の充実を目指すとともに、言語文化に関する理解を深めその向上に資する態度を養う。	心の在り方 社会をとらえる 状況に生きる 古典を楽しむ 理論の展開 人間と言葉 意見文 書写 課題研究	〔通年〕基礎的な古文・漢文の輪読(ノート提出) 古典文法から現代文法の変遷 メディアリテラシー (動画から情報を読み取る) 課題研究 (例 文学作品を調べよう)
高1		国語総合 これまで培ってきた「話す」「聞く」「書く」「読む」「見る」という力をより高く、強く、広く、深く追究する中から、現代から古典にまで亘る言語文化を学び感受力、理解力、表現力を養う。	
高2	【発展期】 言語文化としての国語の正しさ、美しさを学ぶ中から、客観的思考力や的確な判断力・思考力に基づく相互理解の姿勢の涵養を目指す。	現代文 小説、評論、詩歌等を通して、心情や論旨の展開・構造を理解し、主旨を正確に読み取る力を養う。そうした力を基に自己の考えを正しく表現したり、相互理解に役立つ力を身につける。	
高3		古典 正確な文法知識と古典の常識を学ぶ中から、多くの作品に触れ、わが国の言語や風習、考え方、感じ方に深く思いを致し、伝統文化としての「古典」を継承していく心と姿勢を養う。	

* 中学校の学習内容については、現行の学習指導要領における教科書(光村)によるものです。使用教科書決定後変更します。

* 高校については、現行の学習指導要領の教育課程によるものです。

6年間の学習指導計画(案)【社会(地歴・公民)】

1 指導の方針

・中高一貫の全体の枠組みの中で学習内容を整理精選し、地理・歴史・公民それぞれの分野で学習内容の解像度をあげていき、スパイラル的な深化・発展を図る。
 ・社会の仕組み、人間のあり方、生き方を社会的・地理的・歴史的・公民的など様々な角度から理解し、多面的・多角的にとらえることができる力をつける。
 ・常に疑問や問題意識を持ち、資料を吟味し、その中から必要な情報を分析し、自分の考えをまとめて発表できる力をつける。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深化・発展的学習(例)			
中1	【基礎期】 ・現代の日本と世界、私たちの生活に関する様々な課題を地理的に把握し具体的に学習する。 ・「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」という歴史区分について、各区分の特色を把握し大きな歴史の流れや枠組みを理解する。	地理的分野 世界の地域構成 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域 世界のさまざまな地域の調査 日本の地域構成 世界と比べた日本の地域的特色 日本の諸地域 [地理的分野]のまとめ	・日頃から地図や地球儀を身近におき、「地図や地球儀の中で理解する」習慣を身につける。 ・身近な地域について課題を設定し、資料情報を集めて整理・分析して探究発表する。			
中2		歴史的分野 歴史の流れ 古代までの日本 中世の日本 近世の日本 開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本①		・同時代の世界の歴史にも目を向け、広い視野で日本の歴史をとらえる。 ・県立歴史館など地域の施設を生かして、テーマ学習を行う。		
中3		歴史的分野 二度の世界大戦と日本② 現代の日本と世界 歴史の流れ[歴史的分野]のまとめ 公民的分野 現代社会とわたしたちの生活 人間の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会 わたしたちの暮らしと経済 地球社会とわたしたち 中学社会のまとめと高校地歴・公民への導入		・松代大本営を見学し、他の国の人々と共に生きる日本のあり方を考える。 ・体験・演習を通して、経済の原理や選挙制度について理解する。 ・環境や高齢化、エネルギーなどの社会問題について討議する。		
高1		世界史A ①世界史へのいざない ②世界の一体化と日本 ③地球社会と日本		現代社会 ①私たちの生きる社会 ②現代社会と人間としてのあり方生き方 ③共に生きる社会を目指して		
高2		文系→世界史B必修 世界史B ①世界史への扉 ②諸地域世界の形成 ③諸地域世界の交流と再編 ④諸地域世界の結合と変容 ⑤地球世界の到来		文系・理系→日本史B、地理Bより1科目選択必修 日本史B ①原始・古代の日本と東南アジア ②中世の日本と東南アジア ③近世の日本と世界 ④近代日本の形成と世界 ⑤両世界大戦期の日本と世界 ⑥現代の日本と世界	地理B ①様々な地図と地理的技能 ②現代世界の系統地理的考察 ③現代世界の地誌的考察	
高3		文系→政経倫理、世B、日B、地Bより2科目 政治・経済倫理		世界史B	日本史B	地理B

* 高校については、現行の学習指導要領の教育課程によるものです。

* 高校の教育課程、学習内容等については、現在検討中で、確定したものではありません。

6年間の学習指導計画(案)【数学】

1 指導の方針

数学が好きでたまらない生徒を育てる。
 そのために「なぜ」が芽生えるような学習内容を、中学・高校の枠にとらわれず精選し、体系的に配置する。
 具体的の方針としては、数学的モデル化の重視とテクノロジー(PC、グラフ電卓など)の利用がある。
 数学的モデル化の重視によって、数学の中だけではなく、現実と数学の間での活動が期待できる。またテクノロジーの利用によって、現実の数値が扱いやすくなったり、場面の推測よりも、その場面が起きる理由を考えることに、授業の重点を移したりすることが可能になる。
 さらに、ジュニア数学オリンピックなどへの積極的な参加体制を取り、外部評価も意識する。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深化・発展的学習(例)
中1	【基礎期】 まずは学習習慣の確立を目指す。授業の受け方・ノートの取り方・家庭学習(予習・復習)の仕方などをしっかり身につけさせる。その上で数学的活動を通して、計算や読みなどの基礎的な力を定着させ、数学的な見方・考え方などの基本的な追究姿勢を学ぶことで、数学を使って事象を観たり考えたりすることの楽しさに気づかせる。	正の数と負の数	加法と減法、四則の混じった計算
		式の計算	多項式の計算、単項式の乗法と除法 文字式の利用
		方程式	1次方程式、連立方程式、連立方程式の利用
		平面図形	三角形の内心・外心
		空間図形	立体の切断
		比例・反比例	いろいろな比例・反比例とグラフの観察
		1次関数	1次関数と方程式、1次関数の利用
		資料の活用	度数分布表・ヒストグラム・箱ひげ図
		課題学習	身の回りを統計的に調べる
		中2	
式の計算	因数分解、式の計算の利用		
平方根	根号を含む式の計算、有理数と無理数		
2次方程式	2次方程式の解き方、2次方程式の応用		
関数 $y=ax^2$	関数 $y=ax^2$ 、関数 $y=ax^2$ のグラフと利用 いろいろな関数		
確率	数え上げの工夫		
課題学習	身の回りを確率的に調べる		
中3	【充実期】 数学的活動を通して論理的な思考力の育成を目指す。 基礎的な概念や原理・法則をもとに事象を考察することで、数学の楽しさやよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。	円	円周角、接弦角、内接四角形の外角の定理
		図形と相似	三角形の相似条件、中点連結定理の空間適用
		三平方の定理	三平方の定理をいろいろな図形に適用
		線分の比と計量	三角形の重心、線分の比と面積比、 相似な図形の面積比、体積比の応用
		整数の問題 課題学習	約数倍数、整数を解とする方程式 数学史を調べる
高1		数学Ⅰ + 数学A ①数と式 ②図形と計量 ③二次関数 ④データの分析 ①場合の数と確率 ②整数の性質 ③図形の性質	
高2	【発展期】 数学的活動を通して体系的な考察と高い活用能力の育成を目指す。 基本的な概念や原理・法則を体系化し、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。	数学Ⅱ + 数学B ①いろいろな式 ②図形と方程式 ③指数関数、対数関数 ④三角関数 ①確率分布と統計的な推測 ②数列 ③ベクトル	数学Ⅱ + 数学B ①いろいろな式 ②数列 ③指数関数、対数関数 ④三角関数 ⑤微分、積分の考え ①確率分布と統計的な推測 ②整列 ③ベクトル
高3		数学Ⅲ ①平面状の曲線と複素数平面 ③微分法 ②極限 ④積分法	

* 高校の教育課程、学習内容等については、現在検討中で、確定したものではありません。

6年間の学習指導計画(案)【理科】

1 指導の方針

・理科教育の体系に立って中学校理科から高校理科での関連性を大切に、基本的な概念の形成を図るとともに、探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び問題解決能力を育成する。
 ・観察、実験を重視し、その結果を整理し考察する学習活動、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動、探究的な学習活動を充実させる。
 ・SSHとの関連をはかり、最先端の科学技術や研究を学ぶ学習を通し、知的好奇心を高めながら、科学を学ぶ意義や有用性を実感させ、科学への関心の高揚を目指す。

2 指導計画

学習目標		学習内容		深化・発展的学習(例)		
中1	【基礎期】 身近な自然事象に興味関心をもち、観察・実験を通して、自然の事物・現象を積極的に探究する基礎的な能力と態度を身につける。	第1分野	身近な物理現象	可視光線について 周波数について		
			力と圧力	水圧の定義		
			身の回りの物質	密度について(アルキメデスの原理) 温度について(水の凝固点、沸点)		
		第2分野	植物の生活と種類	光学顕微鏡のしくみ 微生物、シダ植物、コケ植物の観察 被子植物と裸子植物について		
中2		第1分野	電流とその利用	発電所のしくみ		
			化学変化と原子・分子	物質の構成粒子について 共有結合、周期表について 携帯カイロのしくみ		
		第2分野	動物の生活と生物の変遷	神経系について 進化論の歴史と現代の進化学説について		
			気象とその変化	川中島の霧について		
中3	【充実期】 様々な事象を科学的に考え、それらを支配する基礎的な理論や法則についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	第1分野	運動とエネルギー	仕事について		
			化学変化とイオン	水溶液について		
			科学技術と人間	石油について		
		第2分野	生命の連続性	メンデルの遺伝法則の歴史		
高1			地球と宇宙	ケプラーの法則について		
			自然と人間	生物多様性について 環境保全と環境保護の違い		
			基礎科目を3つ選択			
			物理基礎 物体の運動とエネルギー 様々な物理現象とエネルギーの利用	化学基礎 化学と人間生活 物質の構成 物質の変化	生物基礎 生物と遺伝 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系	地学基礎 宇宙における地球 変動する地球
高2	【発展期】 科学的に探究する能力とともに、自然の事象・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。		4単位科目から1科目または2科目選択			
			物理 様々な運動 波 電気と磁気 原子	化学 物質の状態と平衡 物質の変化と平衡 無機物質の性質と利用 有機化合物の性質と利用 高分子化合物の性質と利用	生物 生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答 生態と環境 生物の進化と系統	地学 地球の概観 地球の活動と歴史 地球の大気と海洋 宇宙の構造
			高3			

* 高校の教育課程、学習内容等については、現在検討中で、確定したものではありません。

6年間の学習指導計画(案)【芸術(音楽、美術、書道)】

1 指導の方針

<音楽> 中学校では、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。高校では、音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

<美術> 絵画、デザインなどの造形芸術に求められる基礎的技術、知識、制作に対する姿勢を学び、美に対する感性を豊かにすることを目指す。高校の美術では、中学で学んだ基礎をさらに充実発展させ、美術系、工学系(工業デザイン、建築等)進学希望者にも対応する授業を行う。

<書写> 中学校...書写への興味関心を高め、「書こう」という意欲を持たせる。文字を正しく整え、速く書くための基本を押さえる。書写の能力を日常生活の中で役立てる。毛筆による書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養えるようにする。高校...書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てる。書写能力を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。

2 指導計画

	学習目標	音楽	美術	書道・書写
中1	<p>[基礎期]</p> <p><音楽> 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。</p>	<p>表現<歌唱></p> <p>表現<器楽> ・アルトリコーダー</p> <p>表現<創作></p> <p>鑑賞 ・「春」「魔王」「郷土の音楽」等</p>	<p>絵画(デッサン) 水彩画(心に残る情景)</p> <p>デザイン マークデザイン</p> <p>立体構成 鑑賞(日本美術と西洋美術の違い)</p>	<p>国語(書写分野) ・楷書 ・行書 ・毛筆の基礎技能</p>
中2	<p><美術> 楽しく美術の活動に取り組み、観察力、集中力を身につける。豊かに発想する能力や表現方法、技術を身につける。自然の形や色彩、優れた東西の美術作品の基礎的理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を育てる。</p>	<p>表現<歌唱></p> <p>表現<器楽> ・アルトリコーダー ・篠笛</p> <p>表現<創作> ・篠笛を利用した旋律創作</p> <p>鑑賞 ・日本音楽、西洋音楽等</p>	<p>デッサン 風景画</p> <p>デザイン(抽象表現) ポスター制作</p> <p>彫刻(パードカーピング) 鑑賞(日本美術)</p>	<p>国語(書写分野) ・目的や必要に応じた楷書、行書 ・毛筆の基礎技能</p>
中3	<p>[充実期]</p> <p><音楽> 主体的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情や態度を高める。多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p>	<p>表現<我が国の伝統的な歌唱> ・長唄「勸進帳」</p> <p>表現<器楽> ・様々な楽器によるアンサンブル</p> <p>表現<創作> ・詩にふさわしい旋律創作</p> <p>鑑賞 ・西洋音楽、雅楽等</p>	<p>自画像(絵画) 絵画(コラージュ技法)</p> <p>版画(ドライポイント技法) 紙工芸</p> <p>デザイン(情報デザイン) 鑑賞(現代美術)</p> <p>作家研究</p>	<p>国語(書写分野) ・多様な文字と表現 ・毛筆の基礎技能</p>
高1	<p><美術> 主体的に美術活動に取り組み美術を愛好する心情や態度を養う。観察力を高め、豊かに発想する力や創造的に表現する能力を伸ばす。美術作品や文化遺産の理解を深め、心豊かに生きることと美術の関りについて関心を持つ。</p>	音楽・美術・書道の中から1科目を選択		
高2	<p>[発展期]</p> <p><音楽>音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</p> <p><美術>美術の幅広い創造活動を通して、創造的発想力・美的直感力・審美眼・人間理解・研究心等を育み豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。また、美を感じ理解する意識を高め、創造的な表現と鑑賞の諸能力を伸ばす。</p>	<p>音楽</p> <p>歌唱(合唱、独唱、重唱) リズムアンサンブル 器楽(リコーダー、クラシックギター) 和楽器(篠笛) 創作 鑑賞と楽典は各単元に併せて実施 音楽系進学者の実技試験対応を考えた授業</p>	<p>美術</p> <p>鉛筆デッサン(手をモチーフにして)/色彩表現(四季と味覚)形と色彩による抽象表現/ 自画像制作(模写背景と人物)/ケント紙による立体表現/ 鑑賞(西洋画と東洋画)/鳩祭ポスター制作/模写(西洋画と東洋画)/ダンボールによる立体構成(公園モニュメント)/洋菓子と和菓子のデザイン(紙粘土制作)/絵本作 作(好きな楽曲の歌詞のイメージから)/美術系(建築、工学含む)/進学者の実技試験対応を考えた授業</p>	<p>書道</p> <p>表現 ・漢字仮名交じりの書 ・漢字の書 ・仮名の書</p> <p>鑑賞</p>
高3				

6年間の学習指導計画(案)【保健体育】

1 指導の方針

・いろいろな種目の運動を学習するなかで、運動の楽しさ・喜びを経験し、さらに練習やゲームをするなかで達成感・成就感が味わえるようになる。
 ・学習を通して、体力の向上を図ることを目標とし、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、たくましい心身をつくる。

2 指導計画(平成23年4月現在)

	学習目標	体育分野	保健分野
中1	【基礎期】 運動の特性を知り、積極的に仲間と関わり協力して練習やゲームを工夫するなかで、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。	体づくり運動と体力テスト 器械運動(マット運動) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ) 球技(バレーボール・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	心身の機能の発達と心の健康 ・身体機能の発達 ・生殖にかかわる機能の成熟 ・精神機能の発達と自己形成 ・欲求やストレスへの対処と心の健康
中2		体づくり運動と体力テスト 器械運動(マット運動・跳び箱) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り高跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ) 球技(バレーボール・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	健康と環境 ・身体環境に対する適応能力・至適範囲 ・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理 傷害の防止 ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止 ・応急手当
中3	【充実期】 運動や健康・安全を理解し、合理的な実践を通して運動技能を高め、自主的・積極的に取り組むことができるようにする。	体づくり運動と体力テスト 器械運動(マット運動・跳び箱) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・ハードル走) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(バレーボール・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	健康な生活と疾病の予防 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活行動、生活習慣と健康 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・感染症の予防 ・保健、医療機関や医療品の有効利用 ・個人の健康を守る社会の取り組み
高1		体づくり運動と体力テスト 球技(バレーボール・ソフトボール・テニス・ハンドボール・サッカー・卓球・バスケットボール) 陸上(短距離走・長距離走・投てき・ハードル走) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 武道(柔道) 体育理論	現代社会と健康 ・健康の考え方 ・健康の保持増進と疾病の予防 ・精神の健康 ・交通安全 ・応急手当 生涯を通じる健康
高2	【発展期】 運動技能の向上を目指し、公正・協力・責任などの態度や、生涯にわたり継続的に運動を楽しめる態度を身につける。	体づくり運動と体力テスト 球技(バレーボール・ソフトボール・テニス・ハンドボール・バドミントン・サッカー・卓球・バスケットボール) 陸上(短距離走・長距離走・投てき・走り高跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・メドレー) 武道(柔道) 体育理論	生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ・様々な保健活動や対策 社会生活と健康 ・環境と健康 ・環境と食品の健康 ・労働と健康
高3		体づくり運動と体力テスト 球技(バレーボール・ソフトボール・テニス・ハンドボール・バドミントン・サッカー・フットサル・卓球・バスケットボール) 陸上(短距離走・長距離走・投てき・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・メドレー) 武道(柔道) 体育理論	

* 高校については、現行の学習指導要領の教育課程によるものです。

6年間の学習指導計画(案)【技術・家庭】

1 指導の方針

【技術分野】

・ものづくりを支える能力などを一層高めるとともに、よりよい社会を築くために、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度の育成を重視する。
 ・学校設定教科「科学リテラシー」との関連を図りながら、情報技術を活用するための知識と技能を習得させるとともに、情報モラルの育成を図る。

【家庭分野】

・生活の自立と家族・家庭・社会とのつながりを重視し、よりよい生活を送るための能力と実践的な態度の育成を重視する。

2 指導計画

	学習目標	家庭分野	技術分野	
中1 中2 中3	【基礎期】【充実期】 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。	家庭と家族関係 こどもの生活と家族・家庭	情報通信ネットワークと情報モラル	学校設定教科「科学リテラシー」のスキル分野 PC基礎操作 インターネット利用 文書作成・表計算 プレゼンテーション 情報リテラシー
		中学生の食生活と栄養	材料と加工に関する技術を利用した設計と製作 メディアを活用した中学校生活の紹介	
		衣服の選択と手入れ	エネルギー変換に関する技術を利用したロボット製作	
		家庭生活と消費・環境	生物育成に関する技術を利用した栽培	
		地域の食文化	プログラムによる計測と制御	
		生活の課題と実践		
高1 高2 高3	【充実期】【発展期】 ＜家庭＞人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実に資する能力と実践的な態度を育てる。 ＜情報＞情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。	家庭基礎 人の一生と青年期 屋代高校の生活 衣生活の管理と健康 食生活の管理と健康 消費行動と環境 乳幼児の発達と保育・福祉 高齢者の生活と福祉 人の一生と家族・家庭	情報 情報の活用と表現 情報通信ネットワークとコミュニケーション 情報社会の課題と情報モラル 望ましい情報社会の構築	

* 高校の教育課程、学習内容等については、現在検討中で、確定したものではありません。

6年間の学習指導計画(案)【英語】

1 指導の方針

周囲にある身近なものから、自然や社会といった大きなものまで、未知なものへの好奇心を育みながら、英語を用いて与えられた音声情報や文字情報を的確に理解し、吸収する。また、得た情報に関する意見や感想を積極的に英語で表現し、仲間と意見交換する中で深化させ、適切な形で報告・発表することができるようにする。特に自然科学の領域に関する知見を深め、興味・関心に基づいて英語から直接情報を正確に入手し、入手した情報を適切な形で発表できる能力を養う。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深化・発展的学習(例)
中1	【基礎期】 あいさつや定型句などの英語表現を身につけながら、簡単な英語のやり取りの仕方を学び、自ら使えるようになる。また、周囲にある身近なもの	あいさつ・身の回りの物 アルファベット 疑問・応答・依頼・指示 自己紹介 数字・場所・時の表現 異文化・異言語(導入) 文法(be動詞・一般動詞など) 肯定文・疑問文・否定文	一般動詞を覚えよう 人称代名詞を使って 自己紹介・人紹介 時の表現を使って私の一日を書く 1年の振り返りを英語で 英語の絵本・童話 過去形の活用
中2	の名前、形態・状態の表現、またそれらを用いた動作や動きといった様々な表現を身につけ、それらを簡単なメッセージのやり取り(聞く・読む・話す・書く)に利用することができる。	異文化の生活・習俗・歴史 コミュニケーション手段 環境・開発(図表・グラフ) スピーチ(将来の夢) 地球規模の問題 時制(過去・現在・未来) 不定詞・動名詞 比較(原級・比較級・最上級) 受動態	マイノリティー文化の研究 自分の地域を英語で 観光英語調査 私の夢スピーチ 体験学習レポート 各国の言語 身近な物の用途 メールへの返答 新聞の読解・新聞作り
中3	【充実期】 日常的なものや周囲のものから興味・関心を広げ、自然・科学・文化・社会・歴史に関して学び、意見を形成し、互いに評価し合う仕方を学ぶ。表現(文法項目)も深化させ、より複雑な表現を吸収し、自ら積極的に活用できるようにする。	インタビューの仕方 レポートの書き方・発表の仕方 対話・意見表明 説明・報告 完了形(現在完了) 不定詞の様々な用法 分詞(現在分詞・過去分詞) 様々な構文	日常動作 地図と道筋 興味ある国を紹介しよう 戦争と平和を学ぶ キング牧師の演説 ディスカッション 手話 英語スピーチ
高1		<p>英語 広範囲かつ内容的にも深い多様な話題(星野道夫氏の自伝/エジプト文明/ハワイ文化/与那国の海中遺跡/チンパンジーとの共存/20世紀概観/PEANUTS秘話)を取り上げた文章を読みながら、音声知識・文法・語彙の知識を深化させ、簡単なレポート・スピーチ・ディスカッションなどの活動に活用できるようにする。文法は、時制/助動詞/不定詞/分詞/動名詞/比較などといった重要項目をより深化させ、やや複雑な構文に関しても学習し、学んだ知識を4技能のすべての技能にわたって活用できる。</p>	
高2	【発展期】 自然・科学・文化・社会・歴史に関して広げた興味・関心をさらに発展させ、より複雑なメッセージを含んだ文章を読んだり、関連した題材について聞いたり読んだりしながら、自分の意見を短時間で論理的に形成し、適切な形で記述したり、意見を交換したり、評価しあったりできるようにする。	<p>英語 より発展的な内容(英語の慣用表現/アボリジニ文化/国境なき医師団の活動/創造性/火星探査/モナリザの謎/DNAと植物/地雷除去活動/対称性)を読解しながら、質疑応答や要約といった活動で理解を深化させる。また語彙や会話表現、複雑な構文などに関しても学習し、学んだことを活用する。</p>	<p>ライティング 英語で学んだ文法項目を復習・定着させ、伝えるべきメッセージを適切に表現するために活用する(文レベル)。次に、より具体的に設定された場面で、表現すべき内容をより自然かつ論理的な形で記述する方法を学ぶ(文の接続レベル)。最終段階で、条件・場面・メディアなどを考慮しながら、メッセージをより効果的に記述する方法を学ぶ(段落レベル)。記述内容も段階的に発展させていく。</p>
高3		<p>リーディング 様々な題材の文章を読んだり、関連した内容の文を読んだりしながら、理解した内容について話し合ったり、スピーチをしたりする。また、リサーチした内容について報告の形でまとめる。読む方法に関しても深化させ、スキミング・スキミング・フレーズ・推測といった方法を適切に行う能力を身につける。</p>	

* 中学校の学習内容については、現行の学習指導要領における教科書(『New Crown』)によるものです。使用教科書決定後変更の可能性があります。

* 高校の学習内容についても、現行の学習指導要領における教科書(『Crown』シリーズ)によるものです。新教科書採択後変更します。

教育関係法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
＜改正の基本方針＞
・教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成する。
・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する。
・道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する。

各教科

〔国語〕
言語感覚を豊かにすることで、道徳的心情や道徳的判断力を育成する。
〔社会〕
社会的事象に対する理解を深め、伝統と文化を尊重する心を育成する。
〔数学〕
筋道を立てて考え、表現する能力を高めることで、道徳的判断力を育成する。
〔理科〕
自然とのかかわりを認識し、生命尊重、科学倫理、環境保全に寄与する態度を育成する。
〔音楽〕
音楽に対する感性を高め、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育成する。
〔美術〕
創造する喜びを味わうようにし、美しいものを尊重する態度を育成する。
〔保健体育〕
集団活動を通し、集団生活の規律向上、相手を尊重する態度を育成する。
〔技術・家庭〕
生活を工夫し創造する態度を育成し、家族への敬愛の念を深める。
〔英語〕
言語や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としての自覚を育てる。
〔科学リテラシー〕
情報収集・分析・活用・発信等のスキルを学びながら、情報モラルの向上を図る。

歴代高等学校附属中学校 道徳教育全体計画（案）

学校教育目標

- 1 学力の充実と、知性の啓発に努める。
- 2 自主独立の気風を養い、創造性を育成する。
- 3 情操豊かな人間性を陶冶し、健康な心身を鍛錬する。

目指す生徒像

- 1 揺るぎない学力や豊かな教養を持った生徒
- 2 知的好奇心や科学的探究心による豊かな創造力を持った生徒
- 3 自然や文化を愛し、豊かな感性と表現力を持った生徒
- 4 人間を尊重し、連帯感を持ちながら共に向上する生徒
- 5 高い志を持ち、自己の未来を拓く、心身ともに健康な生徒



道徳教育の指導の重点

- 1 異年齢集団による活動等、全教育活動を通じて道徳的な心情、判断力、意欲や態度などの道徳性を養い、人間としてのあり方・生き方についての自覚を深め、道徳実践力の育成に向けた指導の充実を図る。
- 2 悩みや葛藤等の思春期の心の揺れ、人間関係の理解等の課題を積極的に取り上げ、道徳的価値に基づいた人間としての生き方について考えを深められるよう配慮する。
- 3 自分の考えを書いたり討論したりする等の表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるよう工夫する。



各学年の重点目標

一学年	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。1-(1) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。2-(2) 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。4-(7)
二学年	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。1-(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。2-(5) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。4-(8)
三学年	より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。1-(2) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。3-(1) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。4-(10)

〔生徒の実態〕

東北信を中心とした広範囲の地域から通学し、ほとんどの生徒が中学入学で新たな人間関係を構築する。本校入学を希望する時点から、自分の将来の生き方に関心を持っている。また、中高一貫教育校として幅広い異年齢集団での活動に取り組む。
〔家庭、地域社会の願い〕
さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成。

総合的な学習の時間

〔鳩学〕
信州を基盤に世界を考える幅広い教養を育むための教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な活動を通して、思考力・判断力・表現力等をはぐくむとともに、各教科における基礎的・基本的な知識・技能の習得にも資するなど教科と一体となって生徒の力を伸ばす。
〔キャリア教育〕
人間としてのあり方、生き方を考えながら、進路選択の考え方や方法を学び、望ましい職業観、勤労観を育成する。また、高い志のもと、多様な進路実現を可能にするための、6年間の効果的、継続的なキャリア教育を行う。

特別活動

〔学級活動〕
よりよい人間関係を築く力、協力して学級や学校の生活の充実向上を図るとともに、生徒が当面する課題に主体的にかかわる態度の育成をする。
〔生徒会活動〕
6年間にわたる幅広い異年齢集団による健全な人間関係の広がり、よりよい学校生活を主体的に築こうとする自治的能力や責任感の育成をする。
〔学校行事〕
集団への所属感や連帯意識を深めつつ、学校や社会の中での様々な人とのかかわり、生きること働くことの尊さを実感できるようにするために、インターンシップ、奉仕体験、文化的な体験などの体験活動を重視する。

道徳の時間の目標

各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳実践力を育成する。

人権教育の目標

- 1 生徒一人一人の人権感覚を磨き、人権問題を自らの課題として解決する意欲と実践力を身につける。
- 2 正しい生き方・職業観を理解し、人間の尊重を基盤とした信頼、思いやりの心を育て、差別や偏見の克服に努める。

生徒指導

6年間を見通した生徒の発達段階を踏まえ、生徒が自主・自立を意識した学校生活が送れるようにし、集団生活における規範意識と社会性を養い、将来のリーダーとしての資質が身につくようにする。

長野県屋代高等学校 道徳教育全体計画(案)

